

■東京2歳優駿牝馬(S I)アラカルト(過去10年の分析)

※第34回から地方競馬全国交流競走で実施

※記録は12月5日時点のもの

■ローレル賞(川崎)の優勝馬が3勝、3着2回

※ローレル賞は平成15年から2歳牝馬重賞に。

※平成15年から1着～3着馬には東京2歳優駿牝馬への優先出走権を付与。

◇第31回優勝 マダムルコント ←ローレル賞1着

◇第33回3着 キョウエイトリガー ←ローレル賞1着

◇第37回3着 クライリング ←ローレル賞1着

◇第38回優勝 ララベル ←ローレル賞1着

◇第39回優勝 モダンウーマン ←ローレル賞1着

※過去10年のローレル賞連対馬は18頭が出走し3勝、2着1回、3着3回。3着内率23.3%。

■優勝馬は最低2勝が条件

◇優勝馬10頭すべてが2勝以上を挙げている

◇2着～3着馬は20頭中、2勝以上を挙げているのは14頭

◇1勝馬の2着～3着馬は6頭

■距離1400m以上での連対の実績が理想

◇3着内の馬30頭中28頭が、距離1400m以上に出走経験(1390m戦含む)

※例外2頭は、第32回2着クラフィンライデン、第33回優勝プリマビスティー。

◇3着内の馬30頭中23頭に距離1400m以上(1390m戦含む)で連対実績

■キャリアは3戦以上が条件

◇3着内の馬30頭中29頭がキャリア3戦以上

※唯一の例外は、第37回2着ストロベリーラン(1戦)のみ。

■キャリア2戦2勝の馬は苦戦続き

◇第30回スクワートルメロー(5番人気→10着)

◇第32回ピーチフィズ(3番人気→10着)

◇第32回ヴィクトリーパール(5番人気→15着)

◇第34回ナターレ(5番人気→10着)

◇第36回ローズベビークリス(5番人気→5着)

※キャリア2戦での好走例は、第37回3着ストロベリーラン(2戦1勝。2戦目は重賞ローレル賞3着)。

■キャリア9戦以上の馬は2勝、2着3回、3着1回

◇第30回優勝ブラックムーン(10戦・金沢競馬出身)

◇第31回2着ブライズメイト(9戦・ホッカイドウ競馬出身)

◇第32回2着クラフィンライデン(12戦・ホッカイドウ競馬出身)

◇第33回優勝プリマビスティー(9戦・ホッカイドウ競馬出身)

◇第33回2着オノユウ(9戦・ホッカイドウ競馬出身)

◇第39回3着ミスミランダー(11戦・ホッカイドウ競馬出身)

■2連勝中の馬が3勝

※2連勝中の馬が3勝、2着1回。

※逆に前走、前々走とも勝利がなかった馬の3着内は全30頭中8頭。

■TCKコースの出走経験は問われない

※3着内の馬30頭中21頭がTCKコース初出走だった。

■他地区からの移籍馬が8勝

※移籍馬は8勝、2着6回、3着3回。

※主力はホッカイドウ競馬からの移籍馬。

※他では金沢競馬が1頭。

■外国産馬は優勝なし

■逃げた馬は2勝

※第35回優勝エンジェルツイト(2番人気)、第32回優勝ネフェルメモリー(1番人気)。

※2着に逃げ粘ったのは第34回チェリベタル(16番人気)のみ。

※3着に残ったのは第30回タガタメ(3番人気)のみ。

■馬体重の増減はひと桁が理想

※3着内馬30頭中の27頭の馬体重が前走からひと桁の増減だった。

■船橋所属馬が4勝でリード

◇TCK所属馬 3勝、2着2回、3着4回。3着内率30.0%

◇船橋所属馬 4勝、2着4回、3着1回。3着内率30.0%

◇川崎所属馬 3勝、2着3回、3着4回。3着内率33.3%

◇浦和所属馬 0勝、2着0回、3着0回。3着内率0.0%

※ホッカイドウ競馬所属馬2着1回、笠松競馬所属3着1回。

■1・2番人気馬が8勝

- ◇1番人気馬 4勝、2着2回、3着0回。3着内率 60.0%
- ◇2番人気馬 4勝、2着0回、3着0回。3着内率 40.0%
- ◇3番人気馬 1勝、2着1回、3着2回。3着内率 40.0%

■翌年の南関東クラシックとの関連

※上位3頭から8頭のクラシックホースを輩出。

- ◇第31回2着 ブライズメイト(東京プリンセス賞)
- ◇第32回優勝 ネフェルメモリー(桜花賞、東京プリンセス賞)
- ◇第34回優勝 クラーベセクレタ(羽田盃、東京ダービー)
- ◇第36回優勝 カイカヨソウ(東京プリンセス賞)
- ◇第38回優勝 ララベル(桜花賞)
 - 2着 ティーズアライズ(東京プリンセス賞)
- ◇第39回優勝 モダンウーマン(桜花賞)
 - 2着 リンダリンダ(東京プリンセス賞)

※ほか、第39回3着のミスミランダーは関東オークスで2着に入る好成績。

■他地区からの参戦馬の傾向

※第34回から地方競馬全国交流競走として実施。兵庫競馬2頭、笠松競馬8頭、ホッカイドウ競馬6頭、金沢競馬、愛知競馬から1頭が挑戦。当初は苦戦が続いていたが、第39回で2着にリンダリンダ(ホッカイドウ競馬)が、3着にミスミランダー(笠松競馬)が入る好走。

■戸崎圭太騎手が3勝

※戸崎圭太騎手は第32回、第34回、第36回で優勝。

※通算では的場文男騎手の4勝が最多勝利。

■川島正行調教師が3勝

※川島正行調教師が第32回、第34回、第36回で優勝。

■⑭番が2勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	2	0	1
2着	0	2	1	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	0
3着	1	1	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	1	0

■東京2歳優駿牝馬(S I)アラカルト(過去全39回の分析)

※第24回まで東京3歳優駿牝馬競走として実施

※第25、26回は1,590mで実施

※第34回から地方競馬全国交流競走で実施

※記録は12月5日時点のもの

■1番人気馬の3着内率は71.8%

◇1番人気馬 19勝、2着4回、3着5回。3着内率71.8%

◇2番人気馬 8勝、2着6回、3着1回。3着内率38.5%

◇3番人気馬 3勝、2着5回、3着7回。3着内率38.5%

※優勝がないのは6番、10番、13番～16番人気馬

※2着がないのは9番、13番、14番人気馬

※3着がないのは10番、12番、15番、16番人気馬

■上位3番人気までの馬が優勝する確率は76.9%

※39回中30回は3番人気以内の馬による優勝。確率76.9%

※39回中12回は3番人気以内の馬によるワンツー。確率30.8%

※39回中10回は1番、2番人気馬とも3着以内。確率25.6%

※39回中3回が3番人気以内の馬によるワンツースリー。確率7.7%

■優勝馬10頭が翌年の南関東クラシックを制覇

◇第4回 テスコファイヤー(関東オークス)

◇第7回 グレイスタイザン(桜花賞、関東オークス)

◇第15回 カシワズプリンセス(羽田盃)

◇第21回 ダイヤモンドコア(桜花賞)

◇第25回 ラヴァリーフリッグ(桜花賞)

◇第32回 ネフェルメモリー(桜花賞、東京プリンセス賞)

◇第34回 クラーベセクレタ(羽田盃、東京ダービー)

◇第36回 カイカヨソウ(東京プリンセス賞)

◇第38回 ララベル(桜花賞)

◇第39回 モダンウーマン(桜花賞)

■TCK所属馬が17勝でリード

◇TCK所属馬 17勝

◇船橋所属馬 10勝

◇川崎所属馬 12勝

■外国産馬は1勝

※第29回ダガーズアラベスクが優勝。

■的場文男騎手が歴代最多の4勝

※的場文男騎手は第12回、23回、24回、30回で優勝。

※森下博、石崎隆之、戸崎圭太騎手が3勝で続く。

■川島正行調教師が歴代最多の4勝

※川島正行調教師は第29回、32回、34回、第36回で優勝。

■④番が8勝でラッキーナンバー

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	2	3	3	8	3	3	2	2	1	4	1	2	0	3	1	1
2着	3	8	4	4	2	1	2	1	2	0	5	1	1	2	2	1
3着	3	3	4	1	2	3	0	4	2	2	4	5	2	2	1	1

■②枠が10勝、2着も7回

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	3	10	3	6	8	3	3	3
2着	7	7	5	5	2	6	4	3
3着	6	3	4	6	1	7	8	4